

学校教育計画						
教育方針		校訓「愛・敬・誠」を実践し、知・徳・体のバランスのとれた全人教育を行なう。 心からの思いやりと真心をもって”誠心誠意”人にも事にも尽くすことのできる人間を育てる。				
前年度の成果と課題		本年度の重点目標		具体的目標		全体評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導の徹底を図り、進学・就職の実績をあげるよう、より高い目標を目指して実践する必要がある。</li> <li>生徒会活動や清掃奉仕などボランティア活動に積極的に取り組めた。</li> <li>部活動では全国大会で優勝するなど大いに成果をあげた。</li> </ul>		1. 本校生としての誇りを持ち、自分の行動に責任がとれる生徒を育成する。 2. 学ぶ目標を持ち、その実現に努める生徒を育成する。 3. 社会に貢献できる生徒を育成する。		①気持ちの良い挨拶ができる生徒を育てる ②善悪の判断が正しくできる生徒を育てる ③規則がきちんと守れる生徒を育てる ④今もっている力を伸ばす(鍛錬) ⑤新しいものに目を向けさせる(挑戦) ⑥保護者との連携を密接にする		B
評価項目	本年度の主な活動目標		主な具体的方策		評価	次年度の改善策
教科 指導	国語	国語を適切に表現する能力を育成し思考力や想像力を伸ばす	校内漢字テストの充実と朝の10分間読書の徹底		C	朝の読書の徹底に向け指導巡回を実施する
	地歴公民	P役員がおり提出しない	身近な題材を多く取り上げ、興味・関心を持てる学習に取り組む		B	副教材等の充実を図り、興味関心を持てる学習に取り組む
	数学	場面に応じた合理的判断力を身に付ける	興味・関心を持てる授業を展開し日常生活と数学を結びつける		C	数学検定の受検をもっと勧め、資格取得することで自信をつけさせる
	理科	科学に対する興味関心を持ち論的思考、基礎的計算力の充実を計る	身近な題材を多く取り上げる		B	計算力の充実を計ることが不十分であった プリントを用いて反復練習を実施
	保健体育	体育活動における安全について学び、心身の基礎体力向上を計る	授業での安全指導の徹底 いろいろな種目に挑戦させバランスのとれた運動をさせる		B	ニュースポーツ等を取り入れた授業展開をする
	芸術	芸術を理解し楽しむ心を養う	生徒に分かりやすい授業をする 各題材に入りやすい工夫をする		B	各題材の深い取り組みを心がける
	英語	生徒が主役となる授業を展開する	スピーキング・ライティングなどの活動を積極的に授業に取り入れ生徒がアウトプットする機会を増やす		B	効果的なアクティブラーニングを導入するため、教師個人のスキルアップを図る
	家庭	家庭生活に関わる実践的な知識と技術の習得	身近な生活課題を取り上げ興味関心を高める(知識と技術の習得)		A	体験や活動の機会を増やす
	情報	情報モラルについて十分理解させるとともに、情報の表現と伝達について基礎的な知識・技術を習得させる	情報モラルや個人情報、著作権について解説し、メディアリテラシーをPCの実習で身に付けさせる		B	情報モラルの定着のため、新聞等の記事から具体例を示す
	商業	専門教科の学習に重点をおいたスペシャリストの育成	専門教科の各種検定の合格を目指す(各2級以上の合格)		B	上級検定に合格しようとする生徒の意識改革を図る
	看護	看護の知識・技術の習得と社会的な役割について理解させる	看護の特性を理解させ免許取得にふさわしい知識・技術・態度を身につける		B	各科目毎に知識・技術・態度の深化を目指す
福祉	社会福祉の意義を理解し実践しようとする心と行動力を育てる	身近な題材を多く取り上げ興味関心を高める		B	より興味関心を高めるために体験を多く取り入れる	
教務	授業の充実を図る	研究授業の活性化 年間学習プログラムと授業評価の活用		B	授業評価の集計を閲覧しやすくし、振り返りの機会を得やすくする	
総務	誠之会活動の活性化と魅力ある学校案内の作成	誠之会の企画運営を改善し保護者の参加を促す		B	役員会の実施時間の変更や部活動へ呼びかけ総会への参加を増やす	
生徒指導	生徒の服装頭髪の整備 退学者、懲戒者の減少 時間厳守	各HR、集会での指導徹底 登下校指導及び校外巡視の徹底		B	生徒指導における教員間の意思統一の更なる徹底を図りたい	
進路指導	多様な進路希望に応じた支援を行い、自らが考えて進路選択ができるようにガイダンスを充実させる	キャリア教育を実施し進路に対する意識を高める 外部講師による講演会や研修会を実施		B	外部講師による講演会や研修会を更に充実させる(質・内容・回数)	
人権・同和教育	人権・同和教育HRを充実させ、生徒の人権感覚を高める	学期に1回の人権・同和教育HRの実施と生徒の希望に叶う進路の決定		B	職員の人権教育への意識を高めるため現職教育を実施する	
保健体育	健康についての意識と体力の向上を目指す	生徒の心身の健康増進を目指し、安全で活発に活動できる環境作りを行う		B	教員同士の共通理解を更に深め、生徒の意識向上を目指す	
教育相談	特別支援教育の推進	現職教育による教員の対応力の向上 教員間の適切な情報共有 コーディネーターを中心とした組織的な対応		C	現職教育早期取組みにより対応力の向上を図る	
特活	学校行事において、生徒自らが自主的かつ積極的に活動する	生徒会行事を生徒主体で運営していくよう努力する		B	合理的・能率的な生徒会活動ができる環境作りのため職員分担の熟考を図る	
厚生	基本的生活習慣の確立 集団生活におけるマナーモラルの習得	食堂内の喫食マナー 時間を守る 自己管理の徹底		C	食堂内の喫食マナーの更なる向上と利用時間の厳守のため職員の巡回指導を行う	
1年団	尽誠学園の一員である自覚を持たせ、周りから愛される学年団になる	社会のルール・マナーについての指導を徹底し、規範意識の向上に努める		B	修学旅行での団体行動を意識させルール・マナーの向上を目指した指導を行う	
2年団	高校生活を充実させ規律正しい生活習慣を身に付けさせる	遅刻、欠席の削減 名札着用の徹底		B	遅刻・欠席の削減に向け、さらに家庭との連携を密にする	
3年団	積極的に自立した活動で学校生活を上げ、全員が納得のいく進路決定を実現する	授業、学校行事への生徒自身による積極的な取り組み		B	さらに教員間の連携を深め、個人に向き合う教師集団を形成する	
商業科	各種検定の基礎固めと習得	第1、第3土曜の補習の充実と検定前の課外授業で2級以上の合格を目指す		C	検定前の課外授業の充実を図る	
衛生看護科	心身の自己管理ができ自ら学び考える姿勢を育てる	看護者をめざす者としての適切な態度を身に付け、准看護師資格試験全員合格を目指す		B	自ら看護者を目指す者として適切な態度・知識を身に付ける	
特進・進学コース	四年制大学進学に必要な基礎学力を定着させる	担任と教科担当が連携し生徒の基礎学力を向上させる		C	生徒に身につけさせたい基礎学力を明確にし、教員がそれを共有する	
体育コース	集団生活の中で基本態度を身に付け社会に貢献できる人間の育成	学校生活で模範生となり体育実技や理論の専門性を高める		B	講師を招き専門的な知識の向上を図る	
教養コース	規範意識を持たせ、生徒の教養を深める学習活動を行い多様な進路に対応する	教科担当と連携し学力のサポートを行い、さらに資格検定取得にチャレンジさせる		B	各々の進路に応じ、有効な資格検定取得の目標を立て計画的にサポートする	

評価基準 A・・・十分達成できている

B・・・おおむね達成できている

C・・・どちらかといえば達成できていない

D・・・ほとんどできていない